

さあ、未来をひらくための改革へ！

「地域の力」
との協働により
確かな道筋を描く

豊島区未来戦略推進プラン2007（概要版）

「文化と品格を誇れる価値あるまち」を目指して

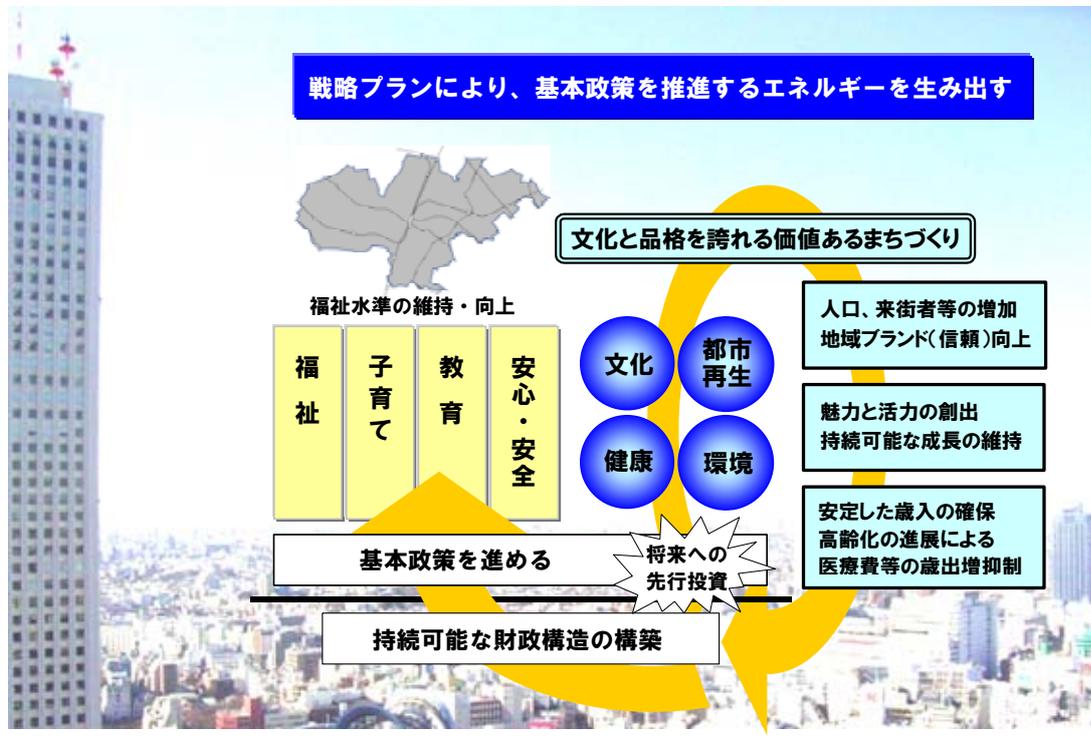
『戦略プラン』は、豊島区の新たな魅力と活力の創造に向け、『豊島区基本計画』に基づき、戦略的かつ横断的な施策展開を促進する、いわば“都市経営戦略”です。

これからは居住の場として、また、経済活動の場として、そして自己実現の場としても、都市や地域が選ばれる時代です。都市間競争が激しさを増すなか、私たちの豊島区が、「住みたいまち」、「訪れたいまち」として選ばれていくためには、地域社会が総力を結集して、魅力あるまちづくりを進め、自治体経営の持続可能性に対する信頼（ブランド）を高めていく必要があります。

今後の少子高齢・低成長社会においても、新たな魅力と活力を創出しながら持続可能な成長を成し遂げていくため、『戦略プラン』では、重点政策として「文化」「健康」「都市再生」「環境」を位置づけ、ビジョンとプロジェクトを示しています。

もちろん、区民生活を支える「福祉」「子育て」「教育」そして「安心・安全」は、区政にとって最も基本的な仕事であり、さらにサービスの質的向上に努めていきます。

こうした区政の基本的な使命を果たし続けていくためにも、新たな魅力と活力を生み出していくための『戦略プラン』が必要なのです。



戦略プランは新たなプロジェクトを加えながら進化していく計画です。次なるプラン2008の策定に向け、皆様のご意見・ご提案をお寄せください！

戦略プランの冊子は、区役所 分庁舎1階 行政情報コーナー、東・西区民事務所、各図書館及び区ホームページで閲覧することができます。また、行政情報コーナーにて有償頒布（800円）しています。

政策経営部企画課 ☎ 3981-4202 直通 メールアドレス A0010108@city.toshima.lg.jp

区ホームページ <http://www.city.toshima.tokyo.jp/seisaku/plan/2007/miraipplan2007.html>

戦略プランが目指す豊島区の姿

豊島区基本構想(平成15年3月議決)は将来像として、「未来へ ひびきあう 人・まち としま」を掲げています。この将来像に基づき、戦略的なまちづくりの方向性を示すものとして、『戦略プラン』が目指すまちの姿を「文化と品格を誇れる価値あるまち」と設定します。

文化と品格を誇れる価値あるまち

地域から新たな価値を生み出し、都市の未来への信頼を高めていく

1. 住みたい、訪れたいと評されるまち

地域のブランド(信頼)の向上による定住人口の増加
個性ある文化創造と情報発信
にぎわいの創出による来街者と交流人口の増加
人と環境にやさしい 池袋副都心の再生

2. 自分らしさを大切にしたい美しいまち

風格ある街並み景観、アメニティの形成
ポイ捨て等のない、美しく快適な道路・広場づくり
地域固有の文化や歴史を大切に活かしたまちづくり

3. 持続可能な成長をめざすまち

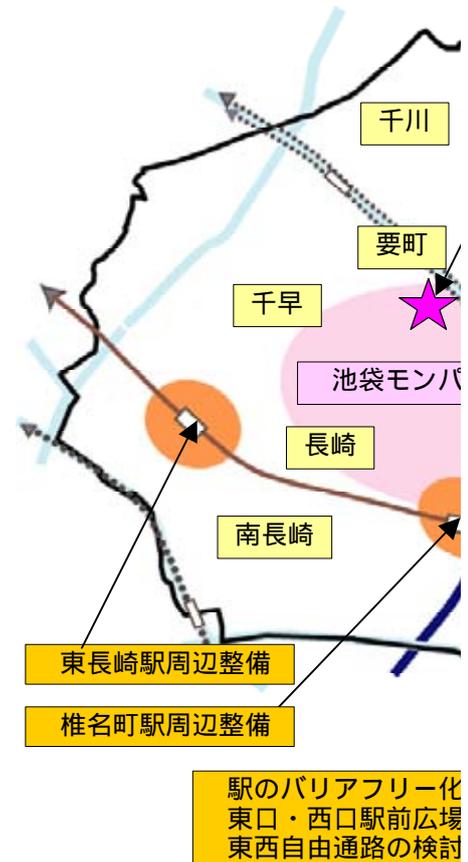
地球温暖化対策、環境負荷の低減に向けた地域からの行動
健全で快適な都市環境・住環境の形成
健康寿命の延伸、高齢化に伴う医療費等の抑制

4. 多様なコミュニティを育むまち

人と人とのつながりのひろがり、郷土愛の醸成
コミュニティや地域活動から生まれる地域の力
地域社会の公共を支える参加と協働の仕組み

◆住宅地のブランド向上

個性ある住宅地の広がり
文化と歴史を活かしたまちづくり
良質な集合住宅の供給誘導



豊島区は高密で安心快適な都市を目指します

豊島区は、今後、人口減少社会が進むなかでも、都市としての魅力を高め、現在 25.5 万人の人口を、4 年後には 27 万人、10 年後には 28 万人に増やすことを目標とします。

これにより、豊島区は日本で一番人口密度が高い都市となります。そして、こうしたなかでも、土地の高度利用を進めてオープンスペースを生み出すとともに、災害対策を強化することで、人口密度が高くとも、安心快適な都市環境、居住環境を創造します。

また、池袋副都心の再生を進めることで、オフィス機能を回復し、昼間人口についても、4 年後に 42 万人、10 年後には 45 万人を目指します。

人口

・人口減少社会のなかでも
定住人口を確保

(10 年後) 概 28 年度 **28** 万人

(4 年後) 概 22 年度 **27** 万人

概 18 年度 **25.5** 万人

人口密度

(10 年後) 概 28 年度 **215** 人/㎡

(4 年後) 概 22 年度 **207** 人/㎡

概 18 年度 **196** 人/㎡

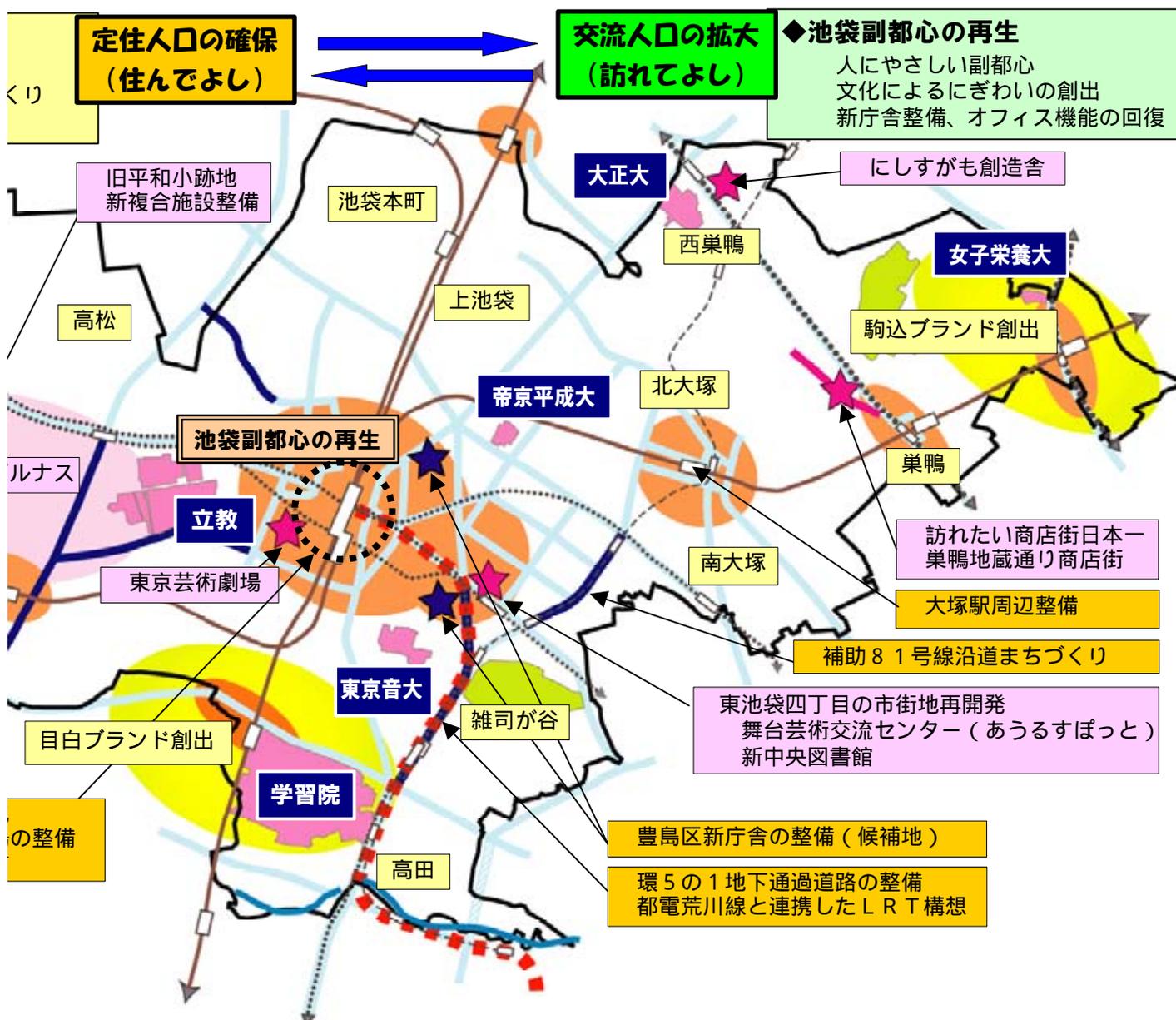
昼間人口

・池袋副都心の
オフィス機能を強化

(10 年後) 概 28 年度 **45** 万人

(4 年後) 概 22 年度 **42** 万人

概 18 年度 **39** 万人



戦略プランの重点政策

『戦略プラン』の重点政策として、「文化」「健康」「都市再生」「環境」、そして「協働」を位置づけます。

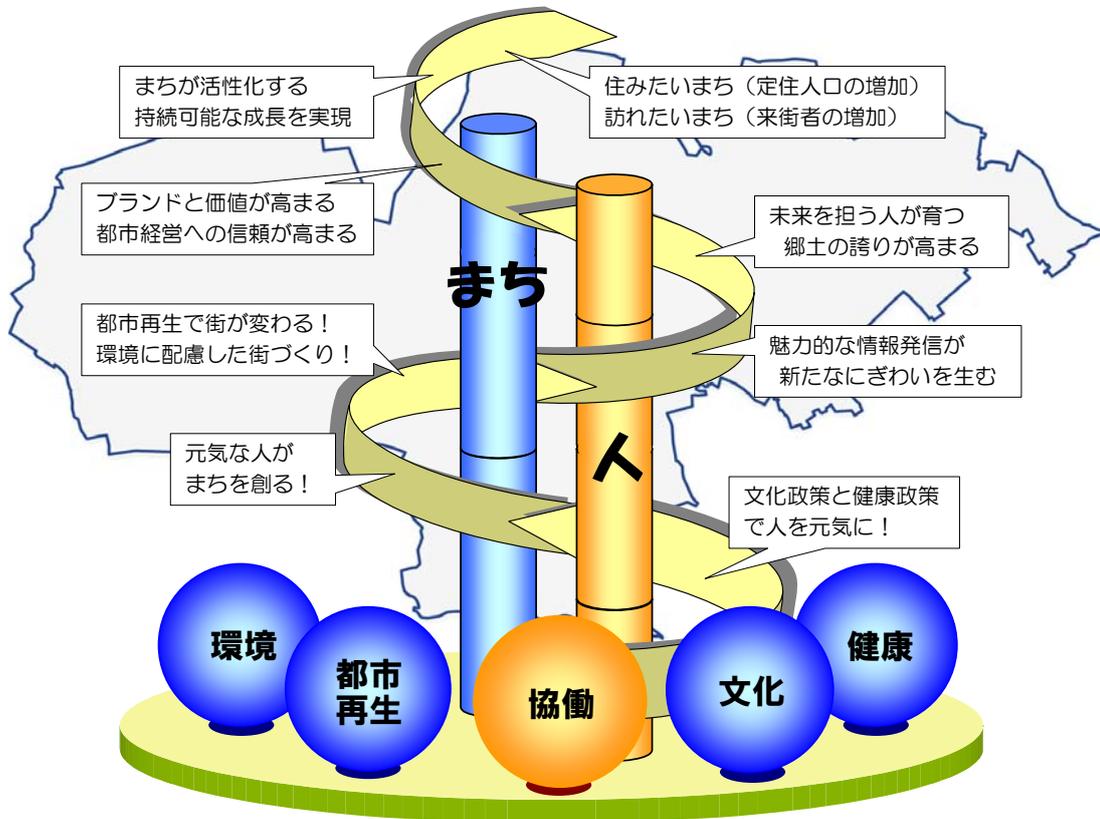
「文化政策」と「健康政策」により、人を元気づけ、元気な人の活動が魅力と活力を創造することで、価値あるまちづくりの進展を促すとともに、池袋副都心の「都市再生」をドラスティクに進めることで、品格ある街並みや魅力ある店舗の誘致を図り、さらに「環境政策」により、人と環境に優しい街づくりを進め、都市としてのイメージを高めていきます。

そして、こうした価値あるまちづくりに取り組むなかで、地域の個性あるにぎわいや多様なコミュニティが育み、未来を担う人を育て、郷土の誇りを高めていきます。

こうした積み重ねを、地域の信頼、そして、地域経済の活性化や税収等の確保にもつなげ、「住みたいまち、訪れたいまち」としての信頼（ブランド）を高めていきます。

地域社会の“公共”を広げる「協働」を基本としつつ、「文化」「健康」「都市再生」「環境」の4つの政策を展開することで、“人”と“まち”の響き合いを興して未来の扉を開くエネルギーを生み出していく好循環を創りあげ、「文化と品格を誇れる価値あるまち」を織り成していきます。

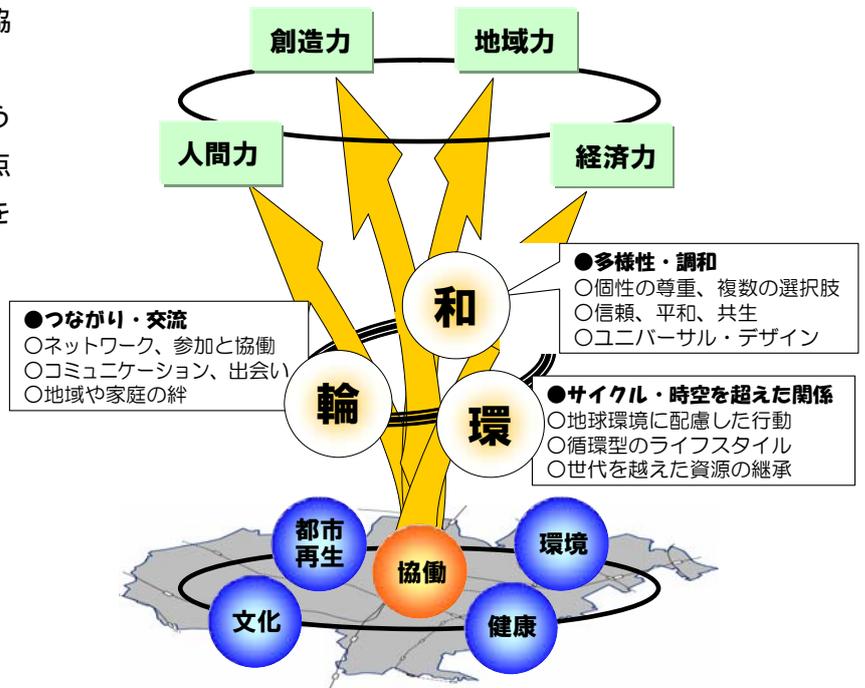
ひびきあう人とまちが、未来の扉を開くエネルギーを生み出し、
「文化と品格を誇れる価値あるまち」を織り成す



協働を基盤とした価値あるまちづくりの展開

『戦略プラン』では、地域の主体による協働、多様な価値観の協働、世代間やグローバルな視点からの協働など、より広い視点から「協働」をとらえ、“和”、“輪”、“環”という3つの“わ”を、まちづくりの視点として大切にしながら、取り組みを進めていきます。

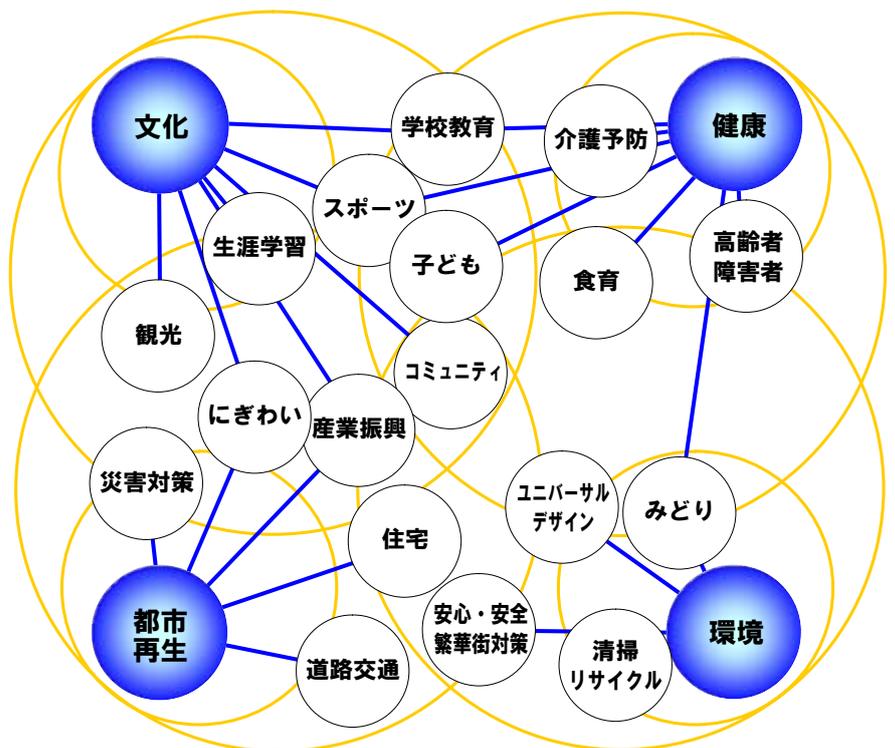
3つの“わ”を大切に！ 未来への扉を開く4つの“力”を創出する



横断的・総合的な連携の確保

『戦略プラン』が目指す「価値あるまち」を実現していくためには、分野別の政策をそれぞれに推進していくだけでなく、新たな魅力と活力の創造に向けて、横断的に政策相互間の連携を進め、相乗効果を発揮させながら総合的な事業展開を図ることが必要です。

「文化」「健康」「都市再生」「環境」の各政策の展開にあたっては、これら4政策を中心として、できる限り様々な政策や施策との連携を検討していきます。



4政策を中心として、政策・施策相互間の横断的連携を図る

重点政策のビジョンとプロジェクト

ビジョン（10年後目標として設定したまちの姿）

プロジェクト（今後4年間に重点的に取り組む施策）

文化

1 文化の力で
新たな輝きを生み出す
まち・としま

- 1 芸術文化の創造と発信
- 2 文化創造拠点（アートスペース）の整備
- 3 伝統文化、地域文化資源の継承と再生
- 4 まちの魅力発信によるにぎわいの創出

2 地域の中で
文化創造の担い手を育てる
まち・としま

- 5 子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ
- 6 多彩な文化活動、生涯学習の推進
- 7 文化を支え、発展させる人材の育成
- 8 文化活動推進のネットワークづくり



舞台芸術交流センター

「あうるすぽっと」



新中央図書館



ジュニア・アーツ・アカデミー事業

ビジョン（10年後目標として設定したまちの姿）

プロジェクト（今後4年間に重点的に取り組む施策）

健康

1 地域ぐるみで 生涯の健康を育む
まち・としま

- 1 健康ライフの創造
- 2 レッツ・生涯スポーツ
- 3 体いきいき心うきうきプロジェクト
- 4 介護予防大作戦

2 健康危機から 暮らしを守る
まち・としま

- 5 感染症予防・安全な暮らしの確保
- 6 身近な医療体制の整備



おたっしや給食



としま健康づくり大学



筋力トレーニング

ビジョン（10年後目標として設定したまちの姿）

プロジェクト（今後4年間に重点的に取り組む施策）

都市再生

1 人に優しい にぎわいあふれる
池袋・副都心

- 1 新庁舎整備による副都心の再生
- 2 快適・道路ネットワークの整備
- 3 歩いて楽しい歩行者中心の街づくり
- 4 風格ある商業・オフィス街の形成
- 5 快適・自転車ライフの推進

2 個性ある 住宅地がひろがる
まち・としま

- 6 魅力ある駅周辺の整備
- 7 地域ブランド創出プロジェクト
- 8 ところ和む価値ある住宅市街地づくり

3 商工のバランスが 活力を生む
まち・としま

- 9 創業起業の環境づくりプロジェクト
- 10 豊島メッセ構想



東池袋四丁目市街地再開発事業



グリーン大通りイメージ図



東長崎駅整備事業

ビジョン（10年後目標として設定したまちの姿）

プロジェクト（今後4年間に重点的に取り組む施策）

環境

1 環境に配慮した 暮らしを創造する
まち・としま

- 1 いきいきエコライフの創造
- 2 環境と経済の好循環の創出
- 3 環境配慮型公共施設の整備

2 “3R”を実践し ごみ半減に
取り組む まち・としま

- 4 リデュース・リユース運動の展開
- 5 循環資源活用型地域社会の実現

3 安全で美しい 都市環境を育む
まち・としま

- 6 みどりをつなぐ環境保全行動の促進
- 7 ブクロ・リバイバルプロジェクト
- 8 さわやか歩行者空間づくり



打ち水大作戦



喫煙マナーアップキャンペーン

ビジョンを明確化する数値目標

人口 ・人口減少社会のなかでも
定住人口を確保

(10年後) 平成28年度 **28万人**

(4年後) 平成22年度 **27万人**

平成18年度 **25.5万人**

昼間人口 ・池袋副都心の
オフィス機能を強化

(10年後) 平成28年度 **45万人**

(4年後) 平成22年度 **42万人**

平成18年度 **39万人**

舞台芸術交流センター 「あうるすぽっと」の年間集客数

(10年後) 平成28年 **11万人**

(4年後) 平成22年 **10万人**

平成19年 **9万人**

文化芸術活動に親しみ、 参加する人の割合を高める

芸術・文化に親しむ機会が多様であると感じる人の割合

20.2% (4年後、10年後) **増加**

(平成17年 協働のまちづくりに関する区民意識調査)

図書館登録者一人あたり 貸し出し冊数

(10年後) 平成28年 **21冊**

(4年後) 平成22年 **20冊**

平成19年 **19冊**



地域が協働

将来

三大生活習慣病の死亡率を抑制する

・ガン、心疾患、脳血管疾患による死亡率の割合

61% (4年後、10年後) **増加抑制**

(平成17年 人口動態統計)

運動習慣のある人の割合を高める

・1日30分以上、週2回以上の運動を1年以上
持続している人の割合

男性 **19%** 女性 **15%**

(平成14年 区民健康意識調査)

平均寿命と健康寿命の差を縮める

・健康寿命：認知症や寝たきりにならない状態で自律
して生活できる期間

・平均寿命 男性78.5歳 女性85.5歳

・健康寿命 男性72.3歳 女性77.7歳

差 男性 **6.2歳** 女性 **7.8歳**

(健康寿命：平成15年、WHO)

成人健診「異常認めず」の割合を高める

・成人健診(生活習慣病集団健診、高齢者健診、節目健診)
受診者のうち「異常認めず」と判定される人の割合

7.7% (4年後、10年後) **増加**

(平成16年度 健診結果)

区民のスポーツ実施率を高める

・週1回以上スポーツを行っていると感じた人の割合

34% (4年後、10年後) **増加**

(平成13年 「豊島区民の運動やスポーツに対する意識と活動の状況に関する調査」)

池袋駅の一日乗降客数を維持する

・JR、西武、東武、東京メトロの一日乗降客数

263万7千人 (4年後、10年後) **維持**

(15年度 東京都統計年鑑)

都市計画道路の整備率を高める

・都市計画決定されている道路延長41.5*₀のうち、完成した都市計画道路の割合

(10年後) 28年度 **76.2%**

(4年後) 22年度 **71.4%**

18年度 **58.2%**(24.1*₀)

(18年度数値は 17年度未現在)

放置自転車の台数を減らす

・区内駅周辺に放置されている自転車(原付を含む)

18年度 **7,028台**

(4年後) 22年度 **3,490台**

(10年後) 28年度 **2,000台以下**

(17年度 駅周辺における放置自転車等の実態調査)

地区計画の決定面積の割合を全区の2割以上に高める

(10年後) 28年度 **20%** **261%**

(4年後) 22年度 **11%** **142%**

18年度 **6.8%** **88.1%**

住宅ストックバランスを改善する

・全住宅ストックに占める30㎡未満の割合を減らし、50㎡以上の住宅の割合を増やす

50㎡以上の割合

(10年後) 28年度 **55%以上**

(4年後) 22年度 **45%以上**

18年度 **30%以上**

30㎡未満の割合

18年度 **37%未満**

(4年後) 22年度 **30%未満**

(10年後) 28年度 **25%未満**

(15年度 住宅・土地統計調査)

事業所数を維持する

20,069件 (4年後、10年後) **維持**

(13年度 事業所統計調査)

温室効果ガスの排出量を削減する

・区内の二酸化炭素の年間排出量

18年度 **135万2千トン**

(4年後) 22年度 **129万8千トン**

(10年後) 28年度 **129万8千トン**

(15年度 地域省エネルギービジョン報告書 : 14年度推計値)

まち全体の緑被率を維持する

・区面積に占める樹木、芝、草地に覆われた面積の割合

(10年後) 28年度 **12.8%**

(4年後) 22年度 **12.4%**

18年度 **12.4%**

(18年度数値は 16年度未現在)

犯罪発生件数を減らす

・区内の刑法犯罪発生件数

18年度 **9,745件**

(4年後) 22年度 **9,300件**

(10年後) 28年度 **8,800件**

(17年度 警視庁統計 各年1~12月)

して目指す

都市
再生

環境

目標

ごみを削減する

・一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)の年間収集量

18年度 **74,500トン**

(4年後) 22年度 **57,300トン**

(10年後) 28年度 **47,400トン**

(18年度数値は 17年度未現在)

資源回収量を増やす

・可燃系資源、不燃系資源の年間回収量

(10年後) 28年度 **28,200トン**

(4年後) 22年度 **23,700トン**

18年度 **19,288トン**

(18年度数値は 17年度未現在)

行政システムの改革

ビルド&スクラップによる事業再構築

人事・給与制度改革

組織機構の改革、人件費の抑制

行政評価制度改革

説明責任と透明性の向上

参加と協働の拡大

施設・業務の委託化、民営化等

外郭団体の見直し

ITの推進等による区民サービス向上

内部管理コストの節減、歳入の確保

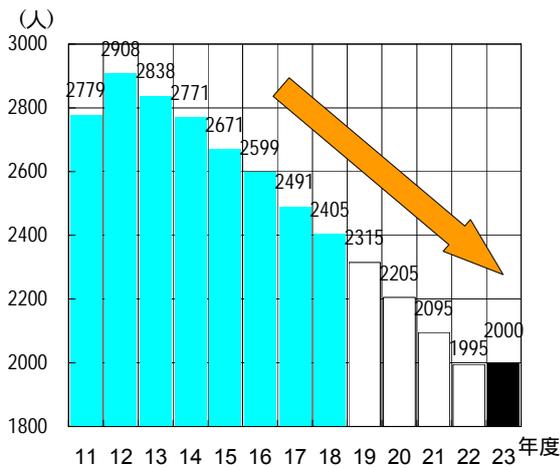
借入金の償還、基金の確保

スリムで変化に強い
行政経営の確立

持続可能な
財政構造の構築

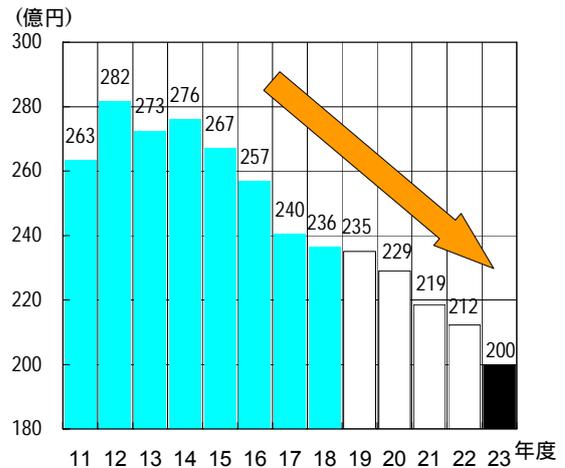
(グラフ中、プラン07の計画期間は22年度まで。23年度は高野区長マニフェストに記載しています。)

職員数 2,000 人体制へ



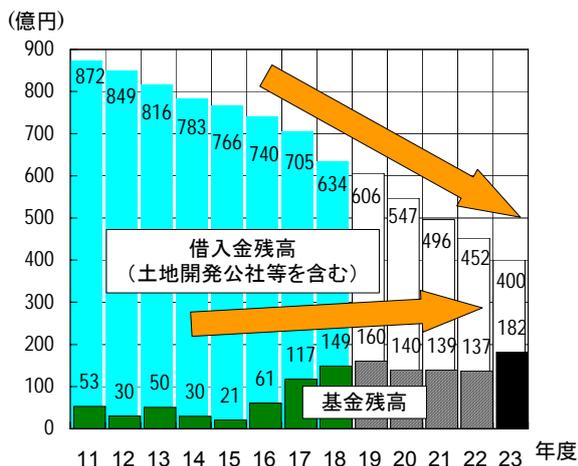
“プラン”の計画

さらなる人件費の抑制



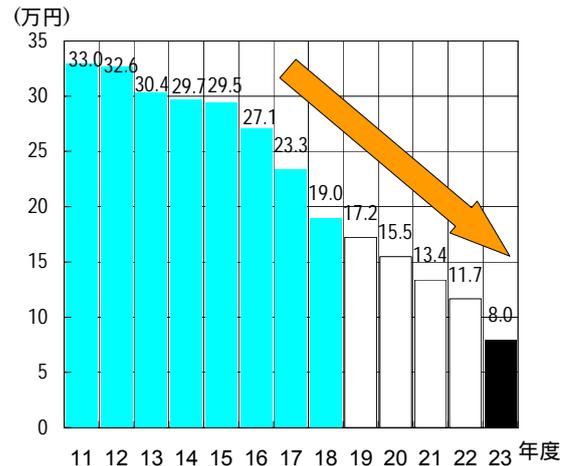
“プラン”の計画

借入金 400 億円台へ 基金 150 億円前後を維持



“プラン”の計画

人口一人あたりの債務をもっと小さく



“プラン”の計画

参加と協働のまちづくりの推進

都市データブックの作成
 財政白書・行政経営白書・施設白書の作成
 メールマガジンの発行（インターネットアンケート等への活用）
 情報提供の推進に関する要綱の策定
 地域活動・NPO情報の紹介
 まちづくりに関する意見交換会、タウンミーティング等の開催

多様な地域活動組織のネットワーク形成
 地域における協議会のあり方検討
 地域区民ひろば運営協議会への支援
 街づくりへの参加促進（街づくり推進条例に基づく地区計画の検討等）
 地域ブランド創出支援事業

①まちづくりに関する情報や地域の課題をみんなで共有する

②まちづくりの方向性や地域の課題についてみんなで話し合う

参加

議論と合意形成

4つのプロセスから「地域力」を高める

まちづくりの実践と評価

④地域の多様な主体が連携・協力して地域課題を解決する

協働

③まちづくりの施策や計画を提案し、区政に反映させる

地域からの施策形成

協働の土台となる地域活動の活性化

町会活動への支援（協働協定に基づく区政協力活動事業等）
 地域区民ひろばの推進
 区民活動センターの運営（仮称）としまコミュニティ大学の開設
 地域サポーター塾（団塊世代地域デビュー支援）

多様な主体による協働の推進

NPO法人等への支援
 ボランティア活動との協力関係の形成
 公益的な活動団体との協働事業の推進
 大学との連携促進
 中間支援の仕組みづくり

新たな参加を引き出すための多様な参加機会の整備
 区民意識調査（区民満足度・施策優先度の把握、政策形成への反映）
 審議会等の委員公募の拡大
 パブリックコメント制度の活用
 施策提案・提言の仕組みづくり

推進体制の整備

自治推進委員会による基本施策の検討
 協働推進ガイドラインの策定
 推進施策に関する大学との共同研究
 庁内推進体制の整備
 協働事業提案制度・事業評価制度の整備

平成 19 年度主な新規・拡充事業

種別： = 新規事業 ・ = 拡充事業
 拡充事業については、既存の経費を含む
 20年度以降着手の公共施設整備等を含む

福祉

高齢者虐待対応決定会議	562 千円
高齢者困りごと援助サービス	4,499 千円
おとしよりホッと相談	4,746 千円
・寝たきり高齢者紙おむつ支給、購入費等助成	57,034 千円
・障害者の就労支援（公園清掃委託）	7,533 千円
・高齢者クラブ事業助成（見守り活動支援助成）	22,791 千円
・敬老入浴事業（ふれあい入浴）	31,085 千円
・心身障害者等移動手段提供事業	148,765 千円
・地域密着型サービス等の基盤整備	215,728 千円
福祉基盤等整備費助成事業	5,000 千円

健康・保健

・としま健康づくり大学	5,290 千円
食育推進プランの策定	1,198 千円
・おたっしゅ給食事業	7,317 千円
・妊産婦健康診査事業	39,679 千円
・休日診療事業（夜間小児救急診療・調剤事業）	55,351 千円

子ども・子育て

東部子ども家庭支援センターの機能拡充	8,600 千円
・子どもスキップ事業	225,256 千円
中高生センター運営事業	11,638 千円
・子どもの医療費助成事業	639,626 千円
・保育園民営化に伴う改修	91,450 千円
保育園改修中の仮園舎設置	平成 20 年度着手

教育

・英語教育推進新事業	30,017 千円
土曜補習「としまアカデミー」	1,670 千円
いじめ対策（相談員設置・電話相談の時間延長）	8,590 千円
西池袋中学校の建替え	平成 20 年度着手
小学校学級数増に伴う普通教室整備	53,804 千円
放課後子ども教室	6,224 千円

コミュニティ・協働

・地域区民ひろばの推進	323,986 千円
区政協力活動事業	3,033 千円
・としま協働プロジェクト	3,920 千円

みどり・環境

・公園等維持管理運営事業	194,248 千円
・上池袋一丁目地区防災公園の整備	196,900 千円
・高田小跡地における公園整備	検討
「みどりの基金」の創設	102,050 千円
エコライフ情報誌発行事業	1,405 千円
集積所カラス被害防止対策事業	1,100 千円
としま喫煙マナー推進事業	29,068 千円
・新資源回収事業	885,787 千円
生ごみ処理機活用支援事業	2,625 千円

都市整備

・副都心商業業務エリア地区計画推進事業	6,244 千円
・南池袋二丁目地区街区再編まちづくり推進事業	7,097 千円
・東池袋四丁目地区市街地再開発事業（第 2 地区）	456,203 千円
・南池袋二丁目地区市街地再開発事業	16,132 千円

・池袋駅西口駅前広場の改修	53,000 千円
・池袋駅及び駅周辺整備	19,662 千円
・大塚駅南北自由通路の整備	462,000 千円
・東長崎駅自由通路等及び駅舎改善整備	259,200 千円
・椎名町駅周辺の整備	5,962 千円
区営池袋本町二丁目住宅の建替え	21,093 千円
・民間住宅耐震改修助成事業	4,116 千円

道路交通

・都市計画道路補助 173 号線の整備	386,055 千円
・学園通りづくり	39,000 千円
・区道のバリアフリー化の促進	31,000 千円
目白駅周辺の区道整備（学習院橋の坂・ヲトの小路）	7,000 千円
千登世橋教育文化センター地下鉄出入口通路設置改修	検討
・自転車駐車場等管理運営事業	360,249 千円

防災対策

・防災指導員関係経費（防災指導員の増員）	8,564 千円
地域防災無線システムのデジタル化	平成 21 年度着手
文字表示機能付き個別受信機への更新	36,255 千円
居住環境総合整備事業（池袋本町地区：公園整備）	2,600 千円
・補助 81 号線街路整備と沿道まちづくり	13,499 千円
・居住環境総合整備事業（東池袋 4・5 丁目）	135,727 千円
・居住環境総合整備事業（染井霊園周辺）	1,778,946 千円
・居住環境総合整備事業（上池袋）	4,700 千円
・地域安全対策事業（防犯パトロール時間延長）	23,533 千円

産業振興

としま ものづくりメッセ	13,233 千円
巣鴨・大塚地区の TMO 構想の推進	39,000 千円
門前町の街づくり事業調査	1,000 千円
・公衆浴場施設改修等資金利子補助	2,712 千円
勤労福祉会館の改修	平成 20 年度着手

文化・芸術

子どものための文化体験プログラム	1,479 千円
地域ブランド創出支援事業	3,000 千円
目白地区「ホタルの里」、目白庭園イベント事業	3,432 千円
舞台芸術交流センター関係経費	1,505,535 千円
区立熊谷守一美術館の設置・運営	9,831 千円
南大塚ホールの改修	平成 20 年度着手

生涯学習・スポーツ

・新中央図書館の整備、管理運営等	3,302,908 千円
雑司が谷図書貸出しコーナーの設置	2,091 千円
・地域図書館の図書資料充実	21,389 千円
・目白図書館の改修	149,550 千円
・生涯学習センターの整備	3,000 千円
長崎中跡地西部スポーツセンターの整備	22,000 千円
豊島体育館の改修	19,700 千円

行政システム等

くらしのガイドの発行	2,200 千円
新庁舎整備基本計画の策定・現庁舎地区の活用	20,831 千円
区民参画による新庁舎整備の検討	9,500 千円
平和小学校跡地複合施設の整備	24,300 千円